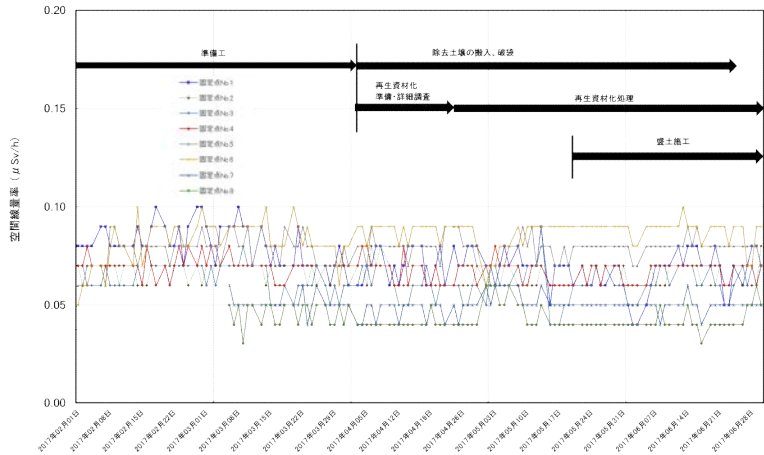


■周辺環境モニタリング

実証事業実施場所において、敷地境界の空間線量率や大気中放射能濃度、排水の放射能濃度等を継続的に計測し、モニタリングを実施しています。

1. 空間線量率



実証事業開始時から空間線量率は大きく変動していません。

2. 大気中放射能濃度

採取時期	5月中旬～下旬		6月上旬		6月中旬		6月下旬	
	Cs-134	Cs-137	Cs-134	Cs-137	Cs-134	Cs-137	Cs-134	Cs-137
測定地点1	3.31×10^{-11}	3.02×10^{-10}	6.27×10^{-11}	4.78×10^{-10}	ND	3.87×10^{-11}	ND	2.49×10^{-10}
測定地点2	3.41×10^{-11}	2.97×10^{-10}	5.52×10^{-11}	3.76×10^{-10}	ND	ND	ND	1.71×10^{-10}
測定地点3	3.37×10^{-11}	3.23×10^{-10}	ND	2.17×10^{-10}	ND	ND	ND	1.05×10^{-10}
測定地点4	3.49×10^{-11}	2.81×10^{-10}	3.24×10^{-11}	2.41×10^{-10}	ND	4.72×10^{-11}	ND	1.94×10^{-10}
測定地点5	5.90×10^{-11}	4.98×10^{-10}	2.85×10^{-11}	2.50×10^{-10}	ND	5.98×10^{-11}	ND	1.83×10^{-10}

(Bq/cm³)

除去土壌の搬入・破袋開始前の大気中放射能濃度は、

Cs-134 : $2 \times 10^{-11} \sim 5 \times 10^{-11}$ Bq/cm³ 程度

Cs-137 : $2 \times 10^{-11} \sim 4 \times 10^{-10}$ Bq/cm³ 程度

でしたので、実証事業開始後も大気中放射能濃度は大きく変動していません。

※データを更新しました。($5 \times 10^{-11} \sim 4 \times 10^{-10}$ Bq/cm³ → $2 \times 10^{-11} \sim 4 \times 10^{-10}$ Bq/cm³)

3. 排水の放射能濃度等

項目	放射基準値	4月				5月				6月												
		5日	14日	19日	26日	28日	13日	15日	16日	25日	30日	1日	2日	7日	14日	19日	20日	22日	23日	28日		
放射能濃度	Cs-134 60Bq/L以下 Cs-137 90Bq/L以下	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND
水系イオン濃度 (pH)	5.8 ~ 6.6	7.69	7.94	7.99	7.85	8.02	7.83	8.56	8.28	7.45	7.29	7.66	8.15	7.56	7.66	7.86	8.38	8.26	7.92	7.59		
浮遊物重量 (SS量)	50 mg/L以下	10.2	8.7	4.6	0.7	3.0	1.6	5.5	4.9	4.4	1.3	7.0	17.9	0.2	7.4	7.9	11.4	11.4	13.3	3.7		

実証事業開始後も、排水の放射能濃度は検出下限値 (ND) 未満です。

今後も各データの測定を続け、安全管理に努めて参ります

東部仮置場近隣のみなさま、南相馬市のみなさまに見学会を開かせていただきました

以下の日程で東部仮置場の近隣のみなさま、南相馬市のみなさまに見学会を開催させていただきました。

平成29年5月19日 (金)
20日 (土)

6月16日 (金)
17日 (土)

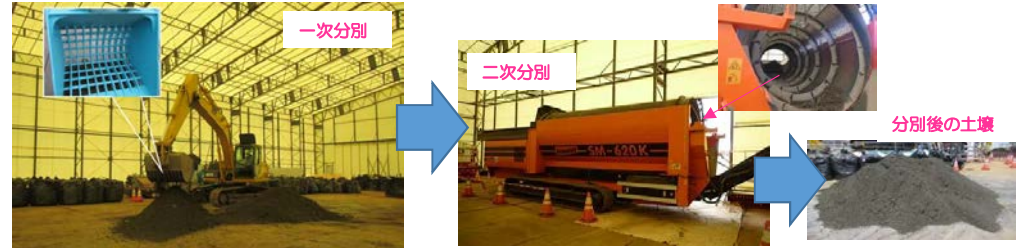
たくさんの方にご参加いただき、ありがとうございました。



■事業の実施状況

前処理・品質調整工程

大型土のう袋約1,000袋分を開封し、一次分別で100mmを超える大きい異物を、二次分別で20mmを超える小さい異物を取り除き、その後、放射能濃度による分別を行い、3,000Bq/kg以下の土壌を実証事業に使用し、3,000Bq/kgを超える土壌については、仮置場内にて安全に保管しております。また、土壌の状態によって分別作業が行いやすいように、土壌に含まれる水分の制御などを目的とした改質材や、土木資材としての強度を上げるために添加する「改良材」の添加を行いました。



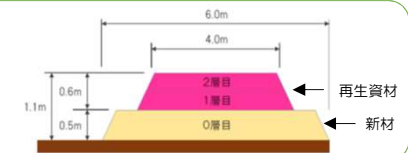
試験盛土の施工

各層を30cmごとに敷きならし、締固めを行っています。これまでのところ、再生資材を用いた場合も盛土材料として良好な施工性を有するとの結果を得ています。今後も盛土周辺の空間線量率や、盛土からの排水の放射能濃度等のモニタリングを引き続き実施します。



改質材・改良材の施工性確認試験

加えて、「改質材」や「改良材」について、複数と比較し、改質材等の効果を確認する試験をテント内で行います。



■今後のスケジュール

項目	平成28年度				平成29年度						
	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月~	
準備・片付け等	■■■■								■■■■		
前処理・品質調整					■■■■						
試験盛土の施工						■■■■					
モニタリング		■■■■								■■■■ (盛土の保守点検を含む)	

天候等の影響により変更が生じる場合があります